

“鮮度一番！”

No.159

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 総会のご報告
- 2 / 代表あいさつ
- 3 / 市民窓口課長 川瀬正様からのメッセージ
- 4 / 燕三条エフエム “ワイワイ女性ひろば”
- 4～5 / 発見！しただの魅力～ひろこの突撃レポート 追補版
- 6 / さんじょう地名メモ…(10) 編集後記



第17回総会のご報告

6月2日(土)午後5時より「まるい」にて2012年度の総会を開催しました。代表挨拶の後、松永一義さんの進行で議事がすすみ、議案の全てが承認されたことをご報告致します。

今年度は、役員改選の年にあたり、新しい役員に早川さんと阿部さんが加わり、会計監査の神田さんが、退任されました。神田さん、今までありがとうございました。

2012年度役員

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|
| ★代表 | 野崎ミチコ | ★副代表 | 村田扶美枝 | 丸山静江 |
| ★会計 | 安室久恵 | ★会計監査 | 山家まり子 | 阿部正剛 |
| ★運営委員 | 宇治 勇 | 川瀬弓子 | 小出和子 | |
| | 住谷幸子 | 西方久子 | 野水良子 | |
| | 早川壹禧 | 原 道子 | 米田美智子 | |

議事の後には、市民部生涯学習課埋蔵文化財調査室の勝山百合さんから「五十嵐川流域の縄文人たち～遺跡が語る縄文時代の女性～」と題して講演をしていただきました。1万年も続いた縄文時代のこと、そしてそれら数多くの遺跡が、この町三条にあるとのことでも興味深いお話を聴くことが出来ました。



◆総会代表あいさつ

三条女性会議代表 野崎ミチコ

こんにちは

本日は、お忙しいところ第17回三条女性会議総会にお集まりくださりまして誠にありがとうございます。本日この日を迎えられましたのも会員の皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。

例年でしたら市民課長のご臨席を賜るところですが、本日は所用が重なったため残念ながら欠席となりました。代わりにお祝いのメッセージを頂いておりますので、のちほど紹介させていただきます。

さて、この1年三条女性会議の活動を振り返って皆様は、どんな感想をお持ちですか？広報誌「鮮度一番！」や燕三条エフエム放送「ワイワイ女性ひろば」、そして近藤洋子さんの連載から始まった「大人の女性のためのしただツアー」等、どうお感じになりましたか？常に謙虚でなければと思いつつ、それでも私は、誤字脱字の間違ひも多々あるけれども「行間にも味わいのある広報誌だな～」「そうそう、そのとおり！と共感するところの多いワイワイ女性ひろばだな～」と思っています。これは、近藤さんや三条地名研究会の杉野真司さんの優れた文筆力によるところも絶大ですが、プラス原稿を書いてくださった会員の皆様の声が、生きた声となり心に染み入ってくるからではないかなと思っています。

ワイワイ女性ひろばは、なかなかタイミングが合わずラジオで聴かれる方が少ないようですが、私たち三条女性会議のホームページで聴くことができます。一人の時、手持無沙汰な時、くすっと笑えると思いますので是非お聴き下さい。こちらは、進行役兼企画係の田辺とも子さんの労によるところが大きく、とても感謝しています。

そして、「大人の女性のためのしただツアー」ですが、来週の6日（水曜日）第2回めの春編を行います。前回お食事をしたこくわ屋藤兵衛もステキな場所でしたが、ツアーに参加したみんなが一緒にお食事ができるといいよね～と今回は、いい湯らていのイタリアンレストラン「ゴッツォ・ラーテ」で地産特産にこだわったプレミアムコースをいただきます。前回にはなかった八木神社の石澤宮司のお話を加えて、またまた大人の女性を満足させるコースとなりました。ただの観光ではなく、しただ郷を愛ししただを拠点に活動している人たちとの語らいは、とても貴重な体験になると思います。

さて、話は変わりますが、県の男女平等社会推進課だより「ふれ愛ほっとらいん」で、三条商工会議所会頭の斉藤さんが会長を務めるシマト工業株式会社が、ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）に登録されたことを知りました。

少子高齢化社会において「発展のカギは、男女共同参画である」と先見の明のたまものと拍手を送らせていただきます。

また、本日総会後に行う記念講演ですが、今回は、やはり下田つながりで下田で遺跡の発掘調査に携わっておられる市民部生涯学習課埋蔵文化財調査室の勝山百合様をお迎えしました。遺跡が語る縄文女性とは、いったいどんなふうだったの？と興味津々です。勝山様には、懇親会にもご出席願いましたので、どしどし時代を超えた謎をお聴きください。

最後に、なかなか進まない、分かりづらい男女共同参画ではありますが、今年度もまちの活性化をキーワードに、いろいろな方たちとの触れ合いの中から私たちの目指す女性と男性が支えあう社会を築いていきたいと思っています。

どうぞ皆様、今年度も変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

◆三條市市民部市民窓口課課長 川瀬正様からのメッセージ

女性会議の皆様、総会開催おめでとうございます。市民窓口課長の川瀬です。総会のご案内をいただきましたが、都合により総会に出席できません。お許しをいただきたいと思っております。三條女性会議総会の開催を心からお祝いし、一言の言葉を添えさせていただきます。

三條女性会議の皆様には、日頃から三條市の行政運営、とりわけ男女共同参画の推進につきまして、多大なご協力をいただいております事に対し、厚く御礼申し上げます。

三條市では、「三條市男女共同参画推進プラン」を平成18年4月に策定し、男女共同参画社会の実現に向けて、各施策を総合的に実施しています。

昨年度は、3年毎の推進プランの見直しのため「市民意識調査」を実施し、これに基づき推進プランの見直しを行い、条例の基本理念である5つの柱、①「男女の人権尊重」、②「社会における制度又は慣行についての配慮」、③「政策等の立案及び決定への共同参画」、④「家庭生活における活動と他の活動の両立」、⑤「国際協調」について、男女共同参画審議会等で審議をいただいた結果、2施策を削除、6施策を見直し、1施策を追加し、合計59施策について、推進していくことに決まりました。

また、三條市男女共同参画審議会では、「審議会等への女性の参画促進」が目標の女性比率30%に満たないことから（平成23年23.9%）、3回の審議を経て、平成23年3月に、「女性委員がいない審議会等を解消するとともに、その比率が一桁の審議会等に関しても、その向上に一層の改善を求める」意見書を市長に提出されました。特に女性の視点や積極的な参画が望まれる審議会等として、「防災会議」、「交通安全対策会議」、「農政対策協議会」、「スポーツ振興審議会」の女性比率の改善が強く求められた意見書となっております。

少し話を転じますが、市（市民窓口課）では、5月22日に新規採用職員等を対象として、（財）新潟県女性財団大島煦美子さんを講師に「男女共同参画基礎講座」を開催しました。私も最後まで話を聞かせていただきました。

男女共同参画社会の形成には、生れながらの性差（生物学的性別⇒セックス）と社会的につくられた約束事としての男女の性差（社会的性別⇒ジェンダー）の2つの性差への気づきと社会的性別（ジェンダー）に敏感な視点持つことが大切であると教えられました。

そして、男女共同参画社会とは、「男だから、女だから」という固定化された意識や慣習に捉われず、すべての男女が持てる個性と能力を発揮でき、自分の意思によって役割を分担し、社会のあらゆる分野で共に協力し合う社会であることを改めて認識させていただきました。

さて、皆さん 今月の23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。男女共同参画社会の形成に向けた取組みを、行政と地域・社会と住民が一体となり、男女一人一人が、職場、学校、家庭、地域で継続していくことが必要ではないでしょうか。

その意味で、是非、女性会議の会員の皆様、当市のトップランナーとしての模範を示していただきますようお願い申し上げます。

最後に、三條女性会議のより一層のご発展と、会員皆様のご健康と益々のご活躍を祈念申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

平成24年6月2日

三條市 市民窓口課長 川瀬 正

燕三条エフエム放送(ラジオは〜と 76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば”

●本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

6月のテーマ 「現代・結婚事情」

- ①独身志向者が増加？
- ②結婚観・今昔
- ③現代結婚事情
- ④今どき理想の夫婦像
- ⑤まちあるきマップを集めてみよう

メンバー：安室久恵 西方久子 野崎ミチコ 田辺とも子

結婚生活30年以上のメンバーが、永遠の夫婦間問題についてしゃべりました。先ごろフランス大統領選で当選したオランド氏が事実婚とか、韓国では専業主夫が急増してる等々、世界の結婚観や日本の現状などについて熱く語っています。どうぞお聴き下さい。リクエスト曲もお楽しみに。(田辺)

追補版

発見！ しただの魅力



〜ひろこの突撃レポート〜

しただ郷地域コーディネーター 近藤洋子

「棚田を守り続けて 35年 ～佐野誠五さん～」

今年の JR のポスターに使われた一面のカタクリの丘、そしてその向こうに見える残雪の粟ヶ岳。この素敵な風景がある場所、そこが佐野誠五さんの棚田です。

「日本の棚田百選」に選ばれた「北五百川の棚田」、実際には280枚もの田があり、それらの総称が北五百川の棚田となっているのですが、残念ながら他の場所は整地されてしまい、本来の棚田の形を残しているのは今では佐野さんとその周辺の田んぼだけになってしまいました。

佐野誠五さんは先祖代々、400年も続くこの棚田を36年前に引き継ぎ、農業を続けられています。棚田というのは、もともと山が地滑りを起こした後にできた田んぼだとのことで、しただの山も地滑りを起こしやすい地形だったのでしょうか。400年前に造られた先人の努力がどんなものだったのか、しかも人力での作業、どんなに大変だったでしょう。

佐野さんは「北五百川の棚田を愛する会」を立ち上げられ、ただ内の NPO さんと協力して棚田のオーナー制度のオーナーさんたちを迎えて毎年春の田植え、秋の稲刈りのイベント行っています。

また、この素晴らしい棚田の風景を一般の人たちにも見てもらえるようにと自費で東屋を立て、誰でも自由にこの景色を楽しめるようにしています。

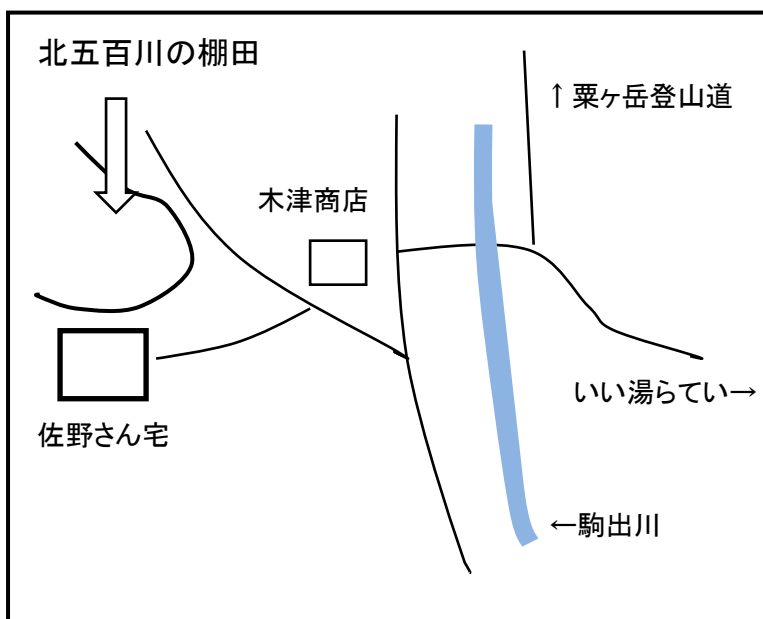
佐野さんの田んぼが素晴らしいのはこの景色だけではありません。近くの山から流れ出る清水を利用した田んぼは他の地方のものとは違い、冬は水を張りません。張る必要がないくらい、豊富な、そのまま飲めるほどきれいな湧水を利用して育てられています。また、佐野さんの田んぼの特徴はとても生き物が多いという事。佐野さんはできるだけ除草剤や農薬を使わない農業をされています。米は非 BL 米です。農薬はカメムシなどの害虫用のみを使い、手間暇かけた農業をされています。そして、害虫以外は殺しません。「カエルも蛇も棚田の天敵のネズミやモグラを食べてくれる、大事な存在なんだよ。」と教えてくれます。

佐野さんの田んぼに来たら、まず、おしゃべりをやめて、自然の音の耳を傾けてみてください。カエルの鳴き声、鳥のささやき、風がそよぎ、清水が流れ落ちる音がハーモニーのように聞こえてきます。

佐野さんご自身は今はお仕事を定年退職され、農業に専念されていらっしゃるようですが、3年前までは畜産センターで45年間、働き続けられた方です。一昨年は秋の叙勲で瑞宝単光章を受けられました。45年というと、中学を出てすぐです。本当はもっと勉強したくて慶応大学の聴講生を受けようかとも思われたそうですが、40日間の東京での受講がお仕事の都合でどうしてもできない、泣く泣く諦められたそうです。

そんなお話を聞いていると、佐野さんの実直な人柄と誠実さがにじみ出てくるようで、そんな田んぼで育ったお米はどんなにかおいしいだろうと思います。そして、そんな佐野さんは大家族の当主でもあります。まじめな佐野さんを支える奥さんはとてもおおらかで明るい性格。大家族がうまくいく秘訣はここかなあと勝手に思っています。

昨年の水害で被害を受けたただの農業ですが、復旧に向けて着々と修復されつつあります。



●●●佐野誠五氏プロフィール●●●

中学卒業後、畜産センターへ就職、20代から棚田を受け継ぎ、維持している。

■三条観光協会 副会長

■北五百川の棚田を愛する会 代表

■趣味はテニスと囲碁

さんじょう地名メモ (10)

「槐田は何と読むのでしょうか」

三条地名研究会 杉野真司

三条市が発行した『三条むかしむかし物語』という郷土史の教本があります。子供むけにやさしく書かれており、三条の歴史を学ぶのにとっても役に立ちます。漢字にふりがながふられているので地名を調べる上でも便利です。1頁ごとにタイトルが付された読み切りの文章が215項目載っています。中世の欄に「三条周辺の荘園と保(2)～槐田荘と大槻荘～」という項目があります。槐田と大槻には、ツキタとオオツキとふりがなが付いています。大槻・オオツキはさておき、槐田はツキタと読めるのでしょうか。それとも何と読むのでしょうか。

宝亀11(780)年の西大寺資財流記帳に載る蒲原郡槐田庄(=荘)が、三条地域の文献初出と考えられています。『三条むかしむかし物語』だけでなく、『三条市史』等も槐田をツキタと訓じています。後代の延喜式神名帳、蒲原十三座の一つに槻田(つきた)神社が載ることから類推して、先人の研究者が槐田をツキタと読んだのではないかと想像しています。大槻(おおつき)荘が存在したこともこれを補強したのではないのでしょうか。しかし、槐の文字が槻の誤記である以外は槐をツキと読むことは困難ではないかと考えます。槐はエンジュの木、槻はツキノキ、櫻(けやき)で、両者は別物です。共通の訓もありません。

『新潟県地名大辞典』(角川書店)は、槐田荘をカイダノショウと読んでいます。カイダ地名は開田等の表記で全国に見られますが、この場合、音と訓とを混ぜて読むのに疑問を感じます。

槐の訓を探すと、エやサイカチと読めます。エダ地名は江田・荇田・枝等がありますが、槐田をエダと読む事例はなく、エダであるかは不明です。槐田をサイカチと読む事例が秋田県にあります。サイカチは棘が多く、集落の境界木として植えられ、石罅の代用品としても使われます。サイカチ地名は様々な漢字で多数分布しています。三条にも才勝で小字に残っています。とはいえ、蒲原郡槐田庄の槐田がサイカチであるとは断定できません。

『三条むかしむかし物語』の「この本の使いかた」には、「書かれていることが本当に正しいかどうかいろいろな意見もあります。みなさんも(中略)まちの歴史を調べてみましょう。」と記載されています。自分で調べた結果、槐田を何と読むかはわかりませんが、ツキタと読むことはできないと考えます。

編集後記:

総会が終わり新体制でスタートを切りました。この原稿を前にパソコンとにらめっこの私をみかねて、台所で旦那さまのトントントンと包丁の音と、なにやらとてもいい匂い。せがれの合の手も入り、「しめた!」とにんやりの私です。我が家の小さな小さな男女共同参画です。

今年度へのいろんな思いがたくさん詰まっている鮮度一番、どうぞすみからすみまでお読みください。(原)

編集発行: 三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先: 三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス: <http://www.joseikaigi.net>

